

■施策評価シート 3-01-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	学校教育
基本方針	子どもの生きる力を育む教育の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	3-01-①	施策名	豊かな心と健やかな体の育成

施策の概要

子どもの豊かな心の育成に向けて、道徳教育を進めるとともに、すべての子どもの多様性を受け入れるインクルーシブ教育を進めます。
小・中学校体力向上プロジェクトを推進し、「運動が好き」や「体育の授業が楽しい」という気持ちを大切にしながら、子どもの体力向上と健全な心身の育成を図ります。また、中学校給食の実施に向けた取組を進めます。

成果指標(単位)	「自分にはよいところがあると思う」と答えた児童生徒の割合(%)【上段:小学6年 下段:中学3年】				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	84.0 74.0	84.5 74.5	85.0 75.0	85.5 75.5
実績値	78.5 76.1	79.6 75.0			

成果指標実績に対するコメント

全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙では、「自分にはよいところがあると思う」と答えた割合は、小学校において、目標値に達しなかったが、全国および滋賀県平均を上回る結果となっている。授業や学校生活において、児童生徒一人一人に対し、きめ細やかな支援を行うことで、子どもたちの自己肯定意識を高め、豊かな心が育まれているのではないかと考える。

施策の達成度評価

発達障害等特別な教育支援を必要とする子どもの増加に伴い、インクルーシブサポーターの配置や医療的ケアが必要な児童のため看護師を配置するなど、特別支援教育の充実を図り、よりきめ細かい支援を行うことができた。児童生徒の体力向上、スポーツ傷害予防を目的とした小中学校体力向上プロジェクトでは、「運動が好き」「体育が楽しい」という気持ちを伸ばすため、体育の授業改善にも取り組んだ。また、令和4年1月より中学校給食の提供を開始した。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

児童生徒一人一人に対するきめ細やかな支援を大切に、子どもの自己肯定意識を高め、心も体も健康になれる教育に取り組む。中学校給食でも引き続き、適切な栄養摂取による健康保持の増進を図る。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
道徳教育総合支援事業	学校教育課	○	市内小中学校2校が、文部科学省「道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業」の指定を受け、道徳教育の実践的な研究を推進し、取組を発信した。
インクルーシブサポーター配置事業	児童生徒支援課	○	発達障害等特別な教育支援を必要とする子どもの増加に伴い、インクルーシブサポーターの配置をするなど、よりきめ細かい支援を行うとともに、特別支援教育の充実を図った。
医療的ケア支援員配置事業	児童生徒支援課	○	日常的にたんの吸引や経管栄養等の医療的ケアが必要な児童のために、看護師の配置をするなど、よりきめ細かい支援を行うとともに、特別支援教育の充実を図った。
中学校体育推進事業	学校教育課	○	スポーツ傷害予防講習会、運動部活動指導支援に取り組み、学校体育の充実を図った。
小学校体育推進事業	学校教育課	○	各種スポーツ体験教室「レッツエンジョイスports! 2021」、ダンス教室を実施し学校体育の充実を図った。
中学校給食センター整備事業	第二学校給食センター	○	第二学校給食センターや中学校における配膳室の建設、給食の開始に向け準備を行い、令和4年1月より中学校給食を開始した。

■施策評価シート 3-01-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
小学校給食材料購入事業	学校給食センター
小学校給食センター管理運営事業	学校給食センター
中学校給食材料購入事業	第二学校給食センター
中学校給食センター管理運営費	第二学校給食センター
学校保健推進養護教諭配置事業	学校教育課
地域ぐるみの学校安全推進事業	学校教育課
中学校文化部活動推進事業	学校教育課
科学発表展覧会開催事業	学校教育課
学校環境衛生管理事業	学校教育課
学校災害賠償補償保険事務	学校教育課
学校保健推進事務事業	学校教育課
校医等配置事業	学校教育課
児童・生徒安全対策事業	学校教育課
児童・生徒等健康診断事業	学校教育課
児童就学援助費	学校教育課
就学時健康診断事業	学校教育課
小学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
生徒就学援助費	学校教育課
体験実践活動推進事業	学校教育課
中学校特別支援教育就学奨励事業	学校教育課
通学路対策事業	学校教育課
日本スポーツ振興センター負担金事務	学校教育課
教育支援委員会運営事務	児童生徒支援課
ことばの教室運営事業	児童生徒支援課
フリースクール利用支援事業	児童生徒支援課
高校生等人権教育活動事業	児童生徒支援課
自主活動学級開設事業	児童生徒支援課
人権教育推進事業	児童生徒支援課
生徒指導推進事業	児童生徒支援課
同和教育指導推進事業	児童生徒支援課
特別支援教育運営事業	児童生徒支援課
青少年美術展覧会開催事業	学校政策推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 3-01-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	学校教育
基本方針	子どもの生きる力を育む教育の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	3-01-②	施策名	確かな学力の育成

施策の概要

子どもが確かな学力を身につけるため、ICT教育や英語教育の充実をはじめとした質の高い授業づくりや基礎的・基本的な知識および技能を生かして、思考力、判断力、表現力等を育む取組を進めます。

成果指標(単位)	「授業がわかる」と感じている児童生徒の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		88.45	88.60	88.75	88.90
実績値	88.30	89.30			

成果指標実績に対するコメント

アンケート調査の結果、「授業がわかる」と答えた児童生徒の割合は、目標値に到達し、前年度より1.0ポイント増加している。教師主導による受身的な授業から、児童生徒が主体的・対話的で深い学びとなる授業改革に向けた取組の効果が表れてきたものとする。

施策の達成度評価

ICT教育や英語教育、道徳教育をはじめとして、単元をとおして主体的・対話的で深い学びへの授業改善を進めるとともに、課題解決的な学びを推進した結果、正解を求める以上に解答に至るまでの考え方や解答を得るための方法に焦点をあてた授業実践を行う教師が増えてきた。今後も引き続き、ICTを効果的に活用した授業改善を全ての市立小中学校で徹底を図る必要がある。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方

これまでの取組により、「授業がわかる」と答えた児童生徒の割合については、増加しているものの、「授業が好き」と答えた児童生徒の割合に課題があることから、令和5年度は主体的・対話的で深い学びへの授業改善を充実しながら、児童生徒が課題を見つけて探求し、表現していく学び方を身につけていくために、ICTをより効果的に活用し、個々に応じた学びを提供する取組を引き続き推進する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
英語教育推進事業	学校政策推進課	○	小中学校でのALTの巡回指導や小学校へのJTEの派遣、オンライン授業の実施により、英語教育の充実を図った。
学校ICT推進事業	学校政策推進課	○	ICT教育スーパーバイザーによる学校訪問や、ICT支援員の重点配置により、ICTの効果的な活用による子どもたちの主体的・対話的で協働的な学びが進んできた。
子ども読書活動推進事業	学校教育課	○	学校図書館が毎日開館し、貸出冊数は昨年度を上回った。ビブリオバトルおよび「図書館を使った調べる学習コンクール」を実施し、学校図書館の「読書センター」および「学習・情報センター」としての機能を充実させることができた。
小1学びの基礎育成事業	児童生徒支援課	○	実践校8校にて、タブレットPCを活用しながら、児童の読みの力を分析・把握し、一人一人の課題に応じた多層指導モデル(MIM)による「読み」の指導を行った。
子ども読書活動推進事業	生涯学習課	○	乳幼児健診時に、家庭読書の啓発チラシ配布や絵本の展示を行い、子ども読書活動の推進を図ることができた。

■施策評価シート 3-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
教育委員会運営事業	教育総務課
教育委員会事務局運営事業	教育総務課
学校教育支援教員配置事業	学校教育課
学力向上重点事業	学校教育課
授業充実加配教員配置事業	学校教育課
学びの教室開催事業	児童生徒支援課
学力向上重点事業	学校政策推進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 3-02-①

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	学校教育
基本方針	学校の教育力の向上	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	3-02-①	施策名	教職員の指導力の向上

施策の概要
 教育の今日的課題に対応するため、各種研修講座(人権教育、教科教育、生徒指導、教育相談、特別支援教育、道徳教育、英語教育等)を開催するとともに、スキルアップアドバイザーを派遣し、各校でのOJT体制について指導・支援を行い、教職員の指導力の向上を図ります。

成果指標(単位)	「学校が楽しい」と感じている児童生徒の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		91.5	92.2	92.9	93.6
実績値	90.8	90.4			

成果指標実績に対するコメント
 実績値は、目標値を超えていないが、令和元年度以降は、90%を超えた高い水準となっている。高い水準となっている要因には、教員が学力向上マネジメント会議や講座、研修等で学んだことを活かして、子どもたちの主体的な学びや協働的な学びによる授業を実践していることが一つの要因として考えられる。今後についても、教職員のさらなる資質の向上のため、継続した取り組みが必要である。

施策の達成度評価
 指導助言や各種研修講座、スキルアップアドバイザーなどの派遣等の施策により、教職員の資質向上を図っている。また、学校現場の課題に即した学びの場を作り、教職員の指導力の向上を図った。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方
 教職員の経験年数に応じた資質向上の取組を継続する必要がある。そのため、学校管理職の指導・助言のもと、OJTを効果的に機能させるための研修等の充実を図り、各校の実情に応じたOJT推進体制づくりを支援するとともに、現場の管理職に問題意識を持たせうえて、管理職研修を実施する必要がある。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
教職員研修事業	学校教育課	○	外国語科、人権教育、特別支援教育など教科等別に授業研究会や講演会を数多く行い、実践力を高めた。学力向上マネジメント会議では、指導と評価の一体化を重視した授業改善を図った。
講座開設事業	教育研究所	○	新型コロナウイルス感染防止策として、参加者のターゲットを設定し、人数制限を行いながら、今日的な課題に即した対面での研修を提供することができた。
スキルアップアドバイザー配置事業	教育研究所	○	各学校のニーズに応じてアドバイザーの派遣を行い、教員の資質向上に関する支援を行うことができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
教育研究所指導員配置事業	教育研究所
教育研究所運営事務	教育研究所
教育調査研究事業	教育研究所

成果達成度の表示について
 ◎ 期待を超える成果があった
 ○ 期待どおりの成果があった
 △ 期待未満の成果であった
 ※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 3-02-②

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	学校教育
基本方針	学校の教育力の向上	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	3-02-②	施策名	学校経営の充実

施策の概要

コミュニティ・スクールを推進し、地域と連携した学校経営の充実を図ります。また、教職員（市費負担による加配教員）をはじめ、スクールソーシャルワーカーや家庭学習サポーター等を配置し、学校の指導体制や運営体制の支援に取り組みます。

成果指標(単位)	「学校が楽しい」と感じている児童生徒の割合(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		91.5	92.2	92.9	93.6
実績値	90.8	90.4			

成果指標実績に対するコメント

児童生徒へのアンケート調査の結果、「学校が楽しい」と答えた児童生徒の割合は、目標値には到達しなかったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら、教員の指導体制の強化により、一人ひとりの児童生徒へのきめ細やかな対応を行ったことに対する児童生徒の評価に表れたものとする。また、不登校傾向にある児童生徒数の増加に伴い、実績値が下がったと思われる。

施策の達成度評価

新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら取組を進める中で、教職員に、課題に対して組織的に対応する体制がさらに進んできた。ただ、児童生徒への的確な支援については課題と考えているので、適材適所への人材配置や効果的な連携の仕方について検討を進める必要がある。

評価に基づいた令和5年度取組についての考え方

支援員や加配教員の配置等による“チーム学校”の構想を継続し、つなぎ目役や窓口となる教員の育成ができるよう研修の機会を持つ。また、教職員だけでなく、保護者や地域、関係機関と連携しながら課題に対して組織的かつ継続的に対応する体制を構築した学校経営を推進していくため、コミュニティ・スクールの充実、強化を図る。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
コミュニティ・スクールくさつ推進事業	学校政策推進課	○	全小中学校に法律に基づくコミュニティ・スクールを導入し、学校、保護者、地域の組織的かつ継続的な連携と協働体制を確立し、協議内容を熟識する意識が進んだ。
家庭学習サポーター配置事業	学校教育課	○	児童の家庭学習を充実させたり、学校での学習支援を行ったりすることで学力向上を図るとともに、教員の負担を軽減し、学校の働き方改革の推進に繋がった。
中学校生徒指導主事活動推進事業	児童生徒支援課	○	児童生徒の問題行動等の未然防止および早期発見・早期解消に向け、学校を中心とした取組を充実させるとともに、関係機関等との連携や啓発活動を行った。
教室アシスタント配置事業	児童生徒支援課	○	小学1年生全てのクラス等に教室アシスタントを配置することで、児童生徒へのきめ細やかな支援を行うことができ、安心して学校生活を送れるようになった。
学校問題サポートチーム運営事業	教育研究所	○	学校で発生する諸問題に対し、早期に専門家からのアドバイスを提供することで、安心して指導にあたり、事態を収束させたりすることができた。

■施策評価シート 3-02-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
学事管理事務	学校教育課
学校運営支援事業	学校教育課
学校基本調査事務	学校教育課
学生ボランティア派遣事業	学校教育課
通学区域管理事務	学校教育課
外国人児童生徒教育支援事業	児童生徒支援課
学校支援対策充実事業	児童生徒支援課
児童生徒支援事務	児童生徒支援課
学校問題相談支援事業	児童生徒支援課
児童通学支援事業	児童生徒支援課
学校改革推進事業	学校政策推進課
学校運営支援事業	学校政策推進課
やまびこ教育相談室運営事業	教育研究所

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 3-02-③

まちづくりの基本目標	「こころ」育むまち	分野	学校教育
基本方針	学校の教育力の向上	基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	3-02-③	施策名	教育環境の充実

施策の概要
 老朽化が進む小中学校の施設・設備の計画的な改修・更新を図るとともに、非構造部材の耐震対策を含めた点検・修繕等の維持管理に努めます。また、学校図書や学習教材等の充実を図るとともに、学校内における事務等の効率化を図るため、情報化の取組を推進します。

成果指標(単位)	非構造部材の耐震化実施校率(%)				
	令和2年度 (※基準値)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値		65.0	70.0	70.0	75.0
実績値	65.0	65.0			

成果指標実績に対するコメント
 計画どおり小学校1校(1期分)を実施したことにより、目標値を達成することができた。

施策の達成度評価
 計画どおり工事を実施することができた。今後も計画的に工事を実施する必要がある。

評価に基づいた令和5年度の取組についての考え方
 市内すべての小中学校で非構造部材の改修が完了するよう国の交付金を取り込みながら計画的に工事を進める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
小学校大規模改造事業	教育総務課	○	計画的にトイレやグラウンドの改修を実施することができたため。
中学校大規模改造事業	教育総務課	○	計画的に体育館やトイレの改修を実施することができたため。
校務情報化推進事業	学校政策推進課	○	校務用コンピュータの維持管理を行い、校務支援システムの運用により、校務の効率化を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
小学校管理運営事業	教育総務課
小学校施設維持管理事業	教育総務課
小学校教育教材整備事業	教育総務課
中学校管理運営事業	教育総務課
中学校施設維持管理事業	教育総務課
中学校教育教材整備事業	教育総務課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。